


No.	利用 Ver	問い合わせ日	問い合わせ内容	回答日	回答
1	BEST-H (住宅環境設計ツール)1.1.12	2025/4/26	<p>ご使用のOS = Windows 10 BESTの種類 = BEST-H(住宅環境設計ツール) BESTのバージョン = 1.1.12</p> <p>建築 = 有 空調 = 有 衛生 = 有</p> <p>お問い合わせ内容 = 件名: BEST-Hにおける共用部設定および集合住宅入力に関するご相談</p> <p>お世話になっております。 現在、住宅環境設計ツール BEST-H を使用させていただいております。</p> <p>本研究では集合住宅を対象としており、住戸ごとの入力に加えて、共用部の給湯設備(例:住棟セントラルエコキュート)などの設定も行いたいと考えております。 しかし、現在使用中のバージョンでは「共用部設定」や「集合住宅モード」の選択ができず、ファイルメニューにも「新規作成」の項目が表示されない状態です。</p> <p>このような場合、正式なライセンス登録または操作方法の変更が必要か、あるいは別のモードやツールが必要となるのか、集合住宅向けの入力機能を使用するための対応方法についてご教示いただけますと幸いです。</p> <p>あわせて、以下の点についてもご確認いただけますと助かります。 ・共用部設定が表示されない原因と、その対応方法について</p> <p>お忙しいところ恐縮ですが、ご確認のほどよろしくお願い申し上げます。</p>	2025/5/8	<p>BEST-H(住宅環境設計ツール)及びBEST-H(住宅環境・健康評価ツール)には、何れも共用部や集合住宅入力に特化した機能(「共用部設定」や「集合住宅モード」のようなもの)は御座いません。 集合住宅の専有部住戸の入力例としましては、下記URLのが参考となるかと思えます。</p> <p>試算例から見るBESTの特徴 住宅の試算例(集合住宅の温熱環境を確認してみよう) https://www.ibecs.or.jp/best/tool.html#estimate</p> <p>その他、入力方法につきましては、下記URLのマニュアルをご覧ください。 BEST-H(住宅環境設計ツール) https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#best-h</p> <p>なお、共用部の計算を行いたい場合は、共用部分だけを非住宅用のBEST設計ツールを使用する方法があります。 住棟セントラルエコキュートの計算も可能です。 BEST設計ツール解説書 操作編 https://www.ibecs.or.jp/best/files/tec_info/BEST_sekkei_sousa_202504.pdf</p>
2	BEST-H (住宅環境設計ツール)1.1.12	2025/5/19	<p>ご使用のOS = Windows 10 BESTの種類 = BEST-H(住宅環境設計ツール) BESTのバージョン = 1.1.12</p> <p>その他 = 有</p> <p>お問い合わせ内容 = いつもお世話になっております。</p> <p>現在、BEST-H(住宅環境設計ツール)をアカデミックユーザーとして利用しております。</p> <p>このたび、現在使用中のPCでは動作が重くなってしまったため、利用案内書に記載の手順に従い、新しいPCへライセンスを移行いたしました。 具体的には、旧PCにて「ヘルプ」メニューより「WEBライセンス認証の解除」を行った後、新PCにて登録ユーザー専用サイトからアプリケーションをダウンロードし、起動いたしました。</p> <p>しかし、新PCでアプリを開いたところ、「PC固有のシリアルNOが取得できませんでした」というエラーメッセージが表示され、起動できない状況です。</p> <p>恐れ入りますが、このエラーの解消方法、もしくは対応手順についてご教示いただけますでしょうか。</p> <p>必要であれば、現在のPC環境や詳細な操作履歴なども別途ご連絡可能です。 お手数をおかけしますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>	2025/5/22	2025/1/6に最新のVer.1.1.12を公開しております。 こちらでお試しいただいておりますでしょうか。
3	BEST-H (住宅環境設計ツール)1.1.12	2025/5/26	<p>★25/5/19お問い合わせの続き ご使用のOS = Windows 10 BESTの種類 = BEST-H(住宅環境設計ツール) BESTのバージョン = 1.1.12</p> <p>その他 = 有</p> <p>お問い合わせ内容 = お世話になっております。</p> <p>5月19日に同様の内容について一度お問い合わせし、ご回答を頂きましたが、うまく対応できず解決に至らなかったため、改めてご相談させていただきます。</p> <p>現在、研究活動の一環でBEST-Hを使用しておりますが、以下の2点についてご教示いただけますと幸いです。</p> <p>1. Ver.1.1.12の入手について 2025年1月6日付で最新版Ver.1.1.12が公開されたとの情報を拝見しましたが、貴センターのWebサイト上で該当バージョンのダウンロードページを見つけることができおりません。最新版の入手方法をご案内いただけますでしょうか。</p> <p>2. ライセンスの使用とPC固有シリアルナンバーについて 当研究室では現在、BEST-Hのライセンスを2本契約しております。1本目はすでにあるPCにて使用中ですが、もう1本のライセンスで別のPCにて使用しようとしたところ、「PC固有のシリアルナンバーが取得できませんでした」とのメッセージが表示され、起動できない状態です。</p> <p>お忙しいところ恐縮ですが、再度のご確認・ご対応をよろしくお願い申し上げます。</p>	2025/5/28	<p>まずは、1についてお試しください。 セットアップは、【登録ユーザー専用サイトURL】よりダウンロード可能です。 https://best-auth.com/</p> 

4	BEST-H (住宅環境設計ツール)1.1.12	2025/5/28	<p>★25/5/26お問い合わせの続き 先日はご丁寧にご返信いただき、誠にありがとうございました。 いただいた方法で試してみたのですが、残念ながら同様のエラーが発生してしまいました。</p> <p>そこで、ソフトを使用できるパソコンを増設して作業を行おうと考えております。 つきましては、作業をスムーズに行うためには、PCのCPU(core数)・メモリ・ストレージのうち、どの要素が最も重要になるのかを教えてくださいませんか。 今後のPC選定の参考にしたいと、ぜひご教示いただけますと幸いです。</p> <p>お忙しいところ恐縮ですが、何卒よろしくお願いたします。</p>	2025/5/29	<p>BESTにおけるPCの性能が与える影響は、以下のように一般的なソフトウェアと同じです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CPU=画面操作や計算速度に影響 ・メモリ=大きな物件データを扱う際に必要 ・ストレージの種類=ファイル書込
5	二	2025/6/26	<p>★25/4/26お問い合わせの続き 今回お認めいただいた件に関係することで、一点相談したいことがあります。 今回の取り組みでは、集合住宅を対象とした評価を行いたいと思っています。</p> <p>そこで、IBECsの標準集合住宅モデルを用いたいと思い、下記の資料を参考に組みようとしています。 https://www.ibecs.or.jp/best/files/tec_info/house_1.pdf</p> <p>この資料の冒頭のリンクより例題データをダウンロードして使ってみようと思ったのですが、インポートがうまくいかないことが分かりました。</p> <p>リンクのbestデータのバージョンが新しいbestに対応していないのだろうと推察しました。そこで、相談なのですが、新しいバージョンに対応した集合住宅モデルのデータなどはございますでしょうか？</p> <p>もし、該当するデータがありましたら、使ってみたいと思っています。 これに関してご検討並びにご教示いただけますと幸いです。</p>	2025/6/26	<p>例題の「集合住宅の温熱環境を確認してみよう(V.1.1.12).best」というデータが、現在リリースされているBEST-H 1.1.12にて、問題なくインポート出来ることを確認いたしました。 インポートがうまくいかないとのことですが、インポート時に何かエラーなどが発生しておりますでしょうか。 発生していれば、ログファイル(BestLogging0.log)をお送り頂けますでしょうか。</p>
6	BEST-H (住宅環境設計ツール) v.1.1.12	2025/7/9	<p>ご使用のOS = Windows 11 BESTの種類 = BEST-H(住宅環境設計ツール) BESTのバージョン = v.1.1.12</p> <p>その他 = 有</p> <p>お問い合わせ内容 = お世話になっております。</p> <p>集合住宅の計算にて、計算対象の住戸の両隣に隣接住戸を想定し、隣接住戸を設定いたしました。 その隣接住戸の面積を、10㎡と100㎡で比較したとき、最寒日のLDの室温が7.9℃と8.0℃となり、0.1℃の差が生じました。 最暑日でも同じく0.1℃の差が生じています。また、その他の居室でも同様の結果となっております。 隣接住戸の面積に応じて、室温が変化するのはなぜでしょうか？</p>	2025/7/14	<p>隣接住戸は、内部発熱0のゾーンとして室内温度が計算されています。 そのため、その室温が変動すると計算対象の住戸へも影響します。 隣室条件を「温度差係数」にて指定することで、条件を固定化することも可能です。 詳しくは、下記URLのBEST-H(住宅環境設計ツール)操作マニュアルのp30「2.5.2 一括編集」をご覧ください。 https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#best-h</p>
7	BEST-H (住宅環境設計ツール) v.1.1.12	2025/7/16	<p>★25/7/9お問い合わせの続き 追加で質問が、2点ございます。</p> <p>①隣接住戸設定での計算ロジックについて 隣接住戸は内部発熱0の空間とのことですが、その隣接住戸の温度はどのような計算がなされているのでしょうか？</p> <p>②過去バージョンのBEST-Hの起動について 過去の計算モデルを見直したいと思い、2023年頃に使用していた「BEST-H.v.1.1.9.h」を起動させようとしたところ、思い当たる起動パスワードを試してみたのですが、起動できませんでした。 過去バージョンのBEST-Hはライセンス認証方法が変更になったことから起動できないのでしょうか？</p> <p>お手数をおかけいたしますが、ご回答よろしくお願いたします。</p>	2025/7/18	<p>①結果は非表示ですが、内部発熱が0(及び空調なし)の室を設定した場合と同じ計算となります。 例えば、「収納」等の室用途で設定した場合と同じ計算です。 ただし、BEST-Hにおいて共同住宅の評価を行う場合には、「隣室温度差係数」を用いる方法を推奨しております。 隣室温度差係数は内壁にのみ設定可能なパラメータであるため、「隣接住戸」という ダミー空間を設定し、その空間との間に内壁を設けて隣室温度差係数を適用する方法をとっています。</p> <p>なお、隣接住戸の実際の居住状態を反映した詳細な評価をご希望の場合は、隣接住戸のプランも含めて 忠実に入力し、通常の室と同様に計算する方法もご検討ください。</p> <p>②MACアドレス認証のセットアップは、年度毎に更新となりますので起動することは出来ません。 パスワードの発行につきまして、別途ご連絡いたします。</p>
8	BEST-H (住宅環境設計ツール)1.1.12	2025/8/5	<p>ご使用のOS = Windows 11 BESTの種類 = BEST-H(住宅環境設計ツール) BESTのバージョン = 1.1.12</p> <p>その他 = 有</p> <p>お問い合わせ内容 = 担当者様</p> <p>お世話になっております。 BEST-H(住宅環境設計ツール)の気象データに関して、お聞きしたいことがあり、ご連絡を差し上げました。</p> <p>本ツールでは、標準年拡張アメダス気象データ 2020年版がデフォルトとして計算されていますが、自身の研究において将来の気象データを用いたシミュレーションを行いたいと考えています。</p> <p>その際、どのようにして将来気象データを本ツールに挿入できるのかをご教授いただきたいです。</p> <p>何卒宜しくお願い致します。</p>	2025/8/5	<p>お問い合わせいただきありがとうございます。</p> <p>BEST-H(住宅環境設計ツール)では、2020年版の標準年拡張アメダス気象データのみを標準で搭載しておりますが、将来の気象データを用いたシミュレーションも可能です。</p> <p>本ツールではEPW形式の気象データ(EnergyPlus Weather File)を読み込む機能を備えておりますので、将来気象データをEPW形式に変換していただければ、ツールに取り込んでのシミュレーションが可能です。</p> <p>EPW形式の仕様や利用方法につきましては、以下の技術資料の「3.3.1 EPWフォーマットデータの作成方法」をご参照ください： https://www.ibecs.or.jp/best/files/tec_info/C_031_kenchiku_20240710.pdf</p>

9	BEST-H (住宅環境設計ツール)1.1.12	2025/10/7	<p>ご使用のOS = Windows 11 BESTの種類 = BEST-H(住宅環境設計ツール) BESTのバージョン = 1.1.12</p> <p>その他 = 有</p> <p>お問い合わせ内容 = お世話になっております。 BEST-H(住宅環境設計ツール)に関して、お聞きしたいことがあり、ご連絡を差し上げました。</p> <p>現在、PCでBEST-Hを起動しようとする、スプラッシュ画面で落ちてしまいます。 logを確認したところ、「クリーン処理に失敗しました」や「ディスクに十分な空き領域がありません」、「途中でファイルの末尾に達しました」などの表記を確認いたしました。</p> <p>もう一度ファイルを開くにはどうすればよいのか、開けない場合データを抽出する方法はあるのかなど、ご教示いただきたいです。 お忙しいところ恐縮ですが、宜しくお願い致します。</p>	2025/10/9	<p>ファイルへの書き込みエラーが発生している可能性があります。 ご使用のPCに十分なディスクの空き容量があるか、書き込み可能フォルダにインストールしているかをご確認ください。</p>
10	BEST-H (住宅環境設計ツール)1.1.12	2025/10/10	<p>ご使用のOS = Windows 11 BESTの種類 = BEST-H(住宅環境設計ツール) BESTのバージョン = 1.1.12(BEST-H)</p> <p>建築 = 有 空調 = 有 衛生 = 有 電気 = 有 コージェネレーションシステム = 有 蓄熱システム = 有 その他 = 有</p> <p>お問い合わせ内容 = ■研究テーマ 集合住宅における「住戸位置」がZEH達成に与える影響と対策</p> <p>■目的 (最下階/中間階/最上階) × (角住戸/中住戸)の計6ケースを同一仕様で計算し、一次エネルギー消費・熱負荷・室温等を比較・考察する。</p> <p>■検討ケース 最下階角住戸: 床=地盤、外壁=南北+東、窓=南+東 最下階中住戸: 床=地盤、外壁=南北、窓=南のみ 中間階角住戸: 上下=隣接住戸、外壁=南北+東、窓=南+東 中間階中住戸: 上下=隣接住戸、外壁=南北、窓=南のみ 最上階角住戸: 屋根=外気、外壁=南北+東、窓=南+東 最上階中住戸: 屋根=外気、外壁=南北、窓=南のみ</p> <p>■ご相談背景 上記6ケースを作成・計算しましたが、結果が想定と大きく乖離するケースがあり、入力条件(特に上下条件・外壁構成・窓条件)の設定方法に不備があったのではないかと考えています。 つきましては、下記の各ポイントについて「どの入力画面・どの項目を、どのように設定すべきか」をご教示いただけますでしょうか。</p> <p>【具体的な質問】</p> <p>A. 上下条件の設定 ・最下階: 床を「地盤(外気側)」として扱う正しい指定箇所はどこか。 ・中間階: 床・天井とも「隣接住戸」として内部条件にする際の推奨設定(躯体種別/境界条件の指定場所、熱橋扱いの有無)。 ・最上階: 天井(屋根)を「外気(屋外)」境界とする際の部位定義・境界条件の指定箇所。 → 該当するBEST-Hの画面名(例: 外皮/部位定義、室定義、隣接・境界条件等)と、チェックすべき項目名をご教示ください。</p> <p>B. 外壁構成(角住戸 vs 中住戸) ・角住戸で「南・北・東の3面が外壁」になるよう、方位別の外周壁面を正しく外気境界にする操作手順。 ・中住戸で妻側を「隣接住戸(内部境界)」にする際の推奨指定。 ・バルコニーや共用廊下(外廊下)の扱いを外気/半外気で切り替える場合の推奨モデリング。</p> <p>C. 窓条件(方位と開口の有無) ・「南のみ」または「南+東」による開口面の切替を、方位別に確実に反映させる入力箇所(窓・建具定義/方位割付/面積配分)。 ・ガラス仕様、日射遮蔽(庇・ブラインド・簾等)、方位角の指定が、日射取得・熱負荷に正しく反映されるための必須チェック項目。 ・換気(自然換気・窓開放)の扱いをケース間で固定する際の注意点。</p> <p>D. よくある入力ミスと検算方法 ・上記A~Cで誤設定が起こりやすいチェックポイント(例: 方位のずれ、外皮境界の取り違え、隣接条件の未割付、窓面積の自動配分の残り、躯体厚さ/断熱仕様のケース間不整合等)。 ・設定が意図どおり反映されているかを、計算前に確認できる推奨の検算手順(プレビューや部位一覧、方位別面積の確認方法、簡易熱負荷の目安など)。</p> <p>お忙しいところ恐れ入りますが、何卒よろしくご依頼申し上げます。</p>	2025/10/15	<p>操作方法に関しましては、下記の講習会資料や動画(2024年8月23日開催 BESTによる住宅の環境設計向け講習会)も参考にご覧ください。 https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html# マニュアルは、下記URLの「BEST-H(住宅環境設計ツール)操作マニュアル(2023年12月)」をご覧ください。 https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#best-h</p> <p>A. 上下条件の設定 最下階の床下は自動的に地盤面となります。 ※床下空間がある場合は、床下空間のフロアを追加してください。詳しくは、マニュアル「5.1 床下空間」p78をご覧ください。 床・天井の躯体種別や熱橋の推奨設定はありません。 中間階の場合の隣室条件として、温度差係数の設定は可能です。詳しくは、マニュアル「2.5.2 一括編集」p30をご覧ください。 屋根の設定方法は、マニュアル「2.5 部位」p25をご覧ください。</p> <p>B. 外壁構成(角住戸 vs 中住戸) 外壁の設定方法は、マニュアル「2.5 部位」p25をご覧ください。設定された方位は、「一括編集」画面で確認可能です。 隣接住戸との温度差係数が設定可能です。詳しくは、マニュアル「2.5.2 一括編集」p30をご覧ください。 外気/半外気で切り替えることは出来ません。半外気となる室は、隙間風を大きく設定するなどの方法が考えられます。</p> <p>C. 窓条件(方位と開口の有無) 一括編集画面にて、外壁の方位を変更することが可能です。当該外壁に設置されている窓は、外壁と一緒に方位に(自動的に)変更されます。 換気の扱いをケース間(複数の物件)で固定することは出来ません。</p> <p>D. よくある入力ミスと検算方法 設定条件の確認については、入力一覧出力をご活用ください。詳しくは、マニュアル「4.1 入力一覧」p74をご覧ください。</p>

11	BEST-H1.1.12	2025/12/5	<p>ご使用のOS = Windows 11 BESTの種類 = BEST-H(住宅環境設計ツール) BESTのバージョン = 1.1.12</p> <p>建築 = 有</p> <p>お問い合わせ内容 = 壁の編集における内壁と床の部材構成に関しまして、部材構成が対称ではないのですが、部材構成の内側と外側は具体的にどちらの面を表しているのでしょうか。 (例えば、部屋を東西に分ける内壁の場合、どちらの壁面が内側の方になるのか)</p>	2025/12/8	<p>部屋を東西に分ける内壁の場合、BEST-Hでは、東側の部屋は東側の部屋からみて、内側から外側までの構成部材、西側の部屋は西側の部屋からみて、内側から外側までの構成部材(同じ)が設定されますので、対称ではない部材構成の場合は矛盾が生じ、正しい答えが算出できません。BEST専門版であれば、対称ではない部材構成の内壁での計算を正確に行うことが可能です。</p>
12	BEST-H1.1.13	2026/1/16	<p>ご使用のOS = Windows 11 BESTの種類 = BEST-H(住宅環境設計ツール) BESTのバージョン = BEST-H(住宅環境設計ツール) : 1.1.13</p> <p>建築 = 有</p> <p>お問い合わせ内容 = HP上にあるBEST-H(住宅環境設計ツール)の操作マニュアルをダウンロードしたいのですが、リンク先が404エラーとなっております。恐れ入りますが、操作マニュアルをご送付いただけませんか。</p>	2026/1/16	<p>操作マニュアルを添付いたします。 こちらでも確認したところ、当方のPCでは正常に表示されました。お使いのブラウザに古いキャッシュが残っている等の可能性がございます。</p>
13	BEST-H1.1.13	2026/4/2	<p>ご使用のOS = Windows 11 BESTの種類 = BEST-H(住宅環境設計ツール) BESTのバージョン = BEST-H(住宅環境設計ツール) : 1.1.13</p> <p>建築 = 有 空調 = 有</p> <p>お問い合わせ内容 = BEST-Hを用いて、主に住宅の一次エネルギー消費量計算を行っております。 現在検討したい項目として、屋根や壁材料の日射反射率の違いにより、住宅の一次エネルギー消費量の変化を確認したいと思っております。</p> <p>BEST-Hでは材料登録などの項目に日射反射率の項目はありませんが、他のBEST(BEST専門版やBEST設計ツールなど)であれば、材料データとして日射反射率の値も登録することは可能なのでしょうか？</p> <p>また日射反射率の登録が可能であるならば、登録した材料データを使用して、BEST-Hで行っていた計算と同様に一次エネルギー消費量計算を実施することは可能でしょうか？</p>	2026/4/3	<p>BEST-HやBEST設計ツールでは、日射反射率の設定及び検討は行えません(外表面日射反射率は、一律0.3 [-])。BEST専門版のみ設定が可能です。材料として登録するのではなく外壁条件として設定します。 入力イメージについては、下記URLの「BEST-P 建築操作マニュアル 2026年2月」p87「2.6.1. 外壁」をご覧ください。 https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#specialty</p> <p>BEST-Hの入力データを専門版へインポートする機能は御座いませんので、専門版にて1からモデルを作成頂く必要がありますが、BEST-Hと同様に、一次エネルギー計算を行う事は可能です。</p>